

広報



かわにし

昭和61年 3/10 No.331

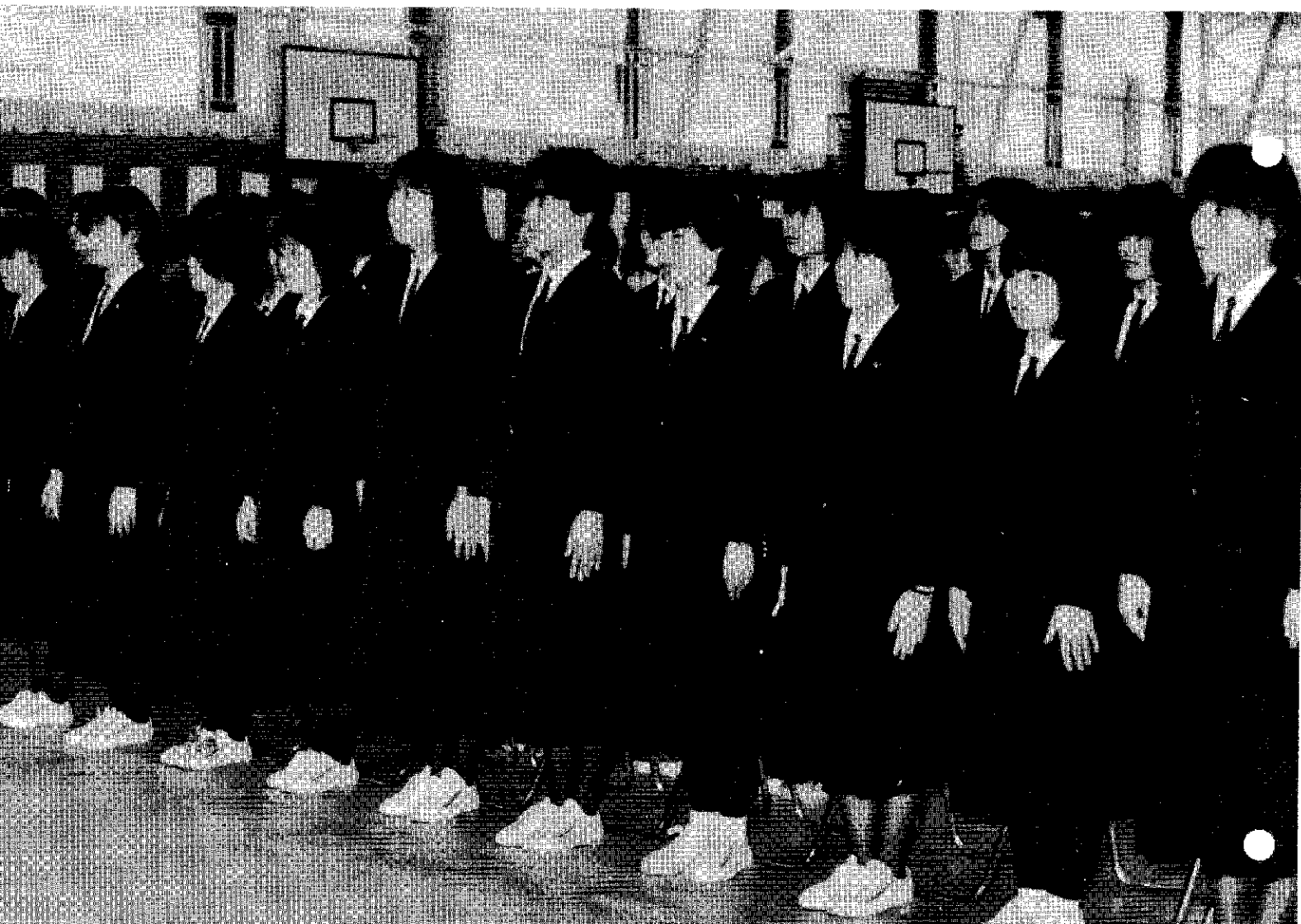
(毎月10日発行)

人口の動き
— 3月1日現在 —
男 4,740 (+6)
女 4,848 (+1)
計 9,588 (+5)
世帯数 2,307 (+0)

() 前月比較

948-01 新潟県中魚沼郡川西町大字水口沢12番地 (☎ 0257-68-3111)

発行 町長 南雲春雄 編集 総務課文書広報係 印刷 白南風社



川西高校から

194人が巣立つ

3月1日に、川西高等学校卒業証書授与式が行われ、第9回生として194人が学窓を巣立ちました。

校長先生の式辞は、「自分の目ざす一筋の道に最大の情熱と努力を」という励ましの言葉でした。

主な内容

- ▷議会報告……………〔2〕
- ▷30周年記念事業テーマ〔3〕
- ▷商工業振興協議会のアンケート調査から…………〔4〕〔5〕
- ▷転作配分会議…………〔6〕〔7〕

- ▷交通災害共済に加入を〔8〕
- ▷町史の窓……………〔9〕
- ▷ひろば……………〔10〕〔11〕
- ▷情報……………〔12〕
- ▷町内さんぽ…………〔13〕
- ▷戸籍の窓から…………〔14〕

3月の休日救急医

- 16日 第二藤巻医院(上野)
- 21日 大島医院(川原町)
- 23日 山口医院(下条)
- 30日 中条病院(中条)

4月上旬の予定

- 6日 至誠堂医院(西浦町)
- 13日 池田医院(本町西)

新年度予算案を審議中

一般会計は

31億1,000万円

議会報告

第一回町議会定例会が開かれています。会期は三月四日から三月二十九日までの二十六日間です。

この議会では、新年度予算案の審議が中心となります。

予算案は、五日に上程され、町長の提案説明がありました。この後、各常任委員会での細部にわたる審議を経て、二十六日に町長に対する総括質疑、二十七日に採決が行われ、新年度予算が成立する見込みです。

町村合併三十周年

きめ細かな事業を盛り込む

新年度予算案の全体の枠組みは、二月号に掲げましたので、ここでは一般会計三十一億一千万円の中身について取り上げてみます。

歳入は、町税が五億一千八百五十五万六千円で、予算全体の一六・七%を占めています。地方交付税は十二億五千二百万円、四〇・三%、国庫支出金が二億四千二百八十六万二千円で七・八%、県支出金は二億六千九百三十七万四千円で八・七%となっています。乏しい財源の中では、町の借金である町債に頼ることになり、その額は四億一千九百一十万円、全体の一三・五%に及んでいます。しかし、この町債

のほとんどは、過疎対策・辺地対策事業などを中心に、普通交付税で元利償還金の補てん措置があるものとなっています。

歳出は、構成比の高い順に並べると、教育費が一七・六%、土木費が一六・四%、総務費が一四・六%、公債費一二・一%、農林水産業費一一・三%、民生費八・四%、衛生費六・五%と続きます。

今年、町村合併三十周年に当たりますので、記念事業なども盛り込み、一般会計は前年度対比一二・一%の伸びと積極大型に組まれています。内容は、留保する財源がほとんどない状態の厳しさです。

3月定例会日程(後半分)

3月26日(水) 町長に対する総括質疑
27日(木) 61年度予算全般に対する質疑・討論・採決
29日(土) 60年度補正予算、その他の議案

事業の概要

案の中から

(単位:千円)

〔商工費〕

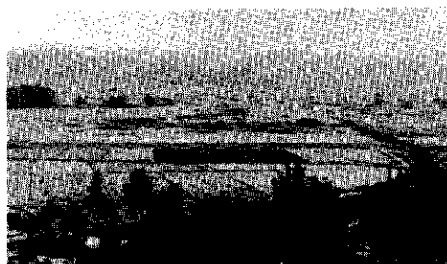
- ▶ 地方産業育成資金貸付金 40,000
- ▶ 観光施設整備事業(節黒城跡休憩展示施設の建設ほか) 11,300
- ▶ 企業誘致対策 2,125

〔土木費〕

- ▶ 町道改良舗装事業(町単事業) 155,296
- ▶ 道路橋りょう整備事業(補助事業、新十日町大橋関連) 127,981
- ▶ 除雪対策(道路除雪、地下水調

査) 109,198

- ▶ 克雪住宅建設資金貸付事業 60,000



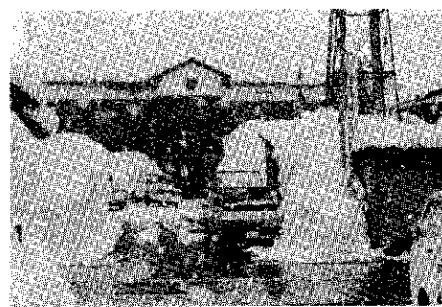
新十日町大橋の予定地

〔教育費〕

- ▶ 教員住宅整備事業 53,936 (公立学校共済組合の住宅購入という形で、教員住宅を建設し、62年度から20年間で買い取る)
- ▶ 小学校改築事業(上野小学校) 237,952
- ▶ スクールバス運行委託 7,049
- ▶ コミュニティ推進事業(上野地

区コミュニティセンターの建設) 46,000

- ▶ 総合体育館の施設整備事業(放送施設の改造ほか) 5,795
- ▶ 小型除雪機械の購入(上野小学校) 1,500
- ▶ 歴史民俗資料館の管理運営 3,220
- ▶ 町民皆スポーツの振興 1,331



コミュニティセンター建設場所(上野)

〔災害復旧〕

- ▶ 災害復旧事業 42,631

「ふるさとを創り育てて30年 世紀を迎えて翔け川西」

合併三十周年記念事業の テーマが決まる

今年は町村合併三十周年に当たります。

そこで、新年度には数々の記念事業が計画されていますが、それらを町民全体の盛り上がりによって実施することを期待し、合併三十周年記念事業実行委員会では、「記念事業テーマ」を募集して定めることからスタートしました。

締め切りの一月二十日までに寄せられた作品は十六点でした。実行委員会では、審査を各委員が一位・三位、二位・二位、三位・一位とつける方法で行い、その合計点によって順位を決めました。

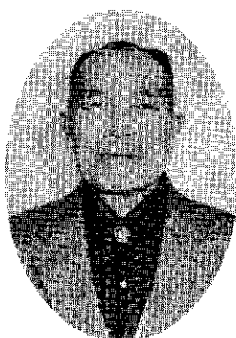
集計結果は、一位が二作品同点となり、町長が入選作品を決定することとなりました。三位

も二作品が同点となったため、入賞を当初より一点増やし四点としました。

入選は、新町新田の若山三郎さんの作品「ふるさとを創り育てて30年 世紀を迎えて翔け川西」です。

入選テーマ作者

若山三郎さんのお話



「端的で分かりやすいものということを念頭に置きました。合併三十年、この間にいろいろなものをつくり育ててきました。これからはそれを基にして二十一世紀へ向けて川西町が大いにハッスルするようにという願いを込めて作りました」と若山さん。

入賞作品

*入選

ふるさとを創り育てて30年
世紀を迎えて翔け川西
新町新田 若山三郎さん

*準入選

わが町を愛し育てて30年
みんなで協力住みよい町に
下平新田 清水広治さん

*佳作

手を結び30年
かぎりなき前進川西町
小白倉 田中 基さん
30年の歴史踏まえて
未来へ飛躍
中央町 太田義雄さん

〔総務費〕

- ▶ 広報かわにしの発行（お知らせ版含む） 3,408
- ▶ 防災行政無線施設工事 42,000
- ▶ 事務改善事業（電算オンライン処理ほか） 19,420
- ▶ 町史編さん事業（資料編10月発刊、通史編62年3月発刊、町史こぼれ話第8集の発刊ほか） 33,636
- ▶ 町村合併30周年記念事業（式典、芸能まつり、記念誌の発行、タイムカプセル埋蔵ほか） 9,369
- ▶ ふるさとの便り（県外転出者に広報などを月1,000部送付） 1,068

〔民生費〕

- ▶ 社会福祉施設補助金（あかね会）

9,399

- ▶ シルバー人材センター負担金 2,097
- ▶ 高齢者慶祝事業（敬老会、喜寿の祝、米寿の祝ほか） 4,347
- ▶ ゲートボール場設置補助金 1,500

〔農業費〕

- ▶ 共同作業場施設設置事業（仙田地域就労センターの建設） 85,000
- ▶ 地域特産物開発振興事業（先進地視察、イチヨウ実証ほか） 315
- ▶ 食用特殊鳥類飼育事業（七面鳥、ホロホロ鳥） 52
- ▶ ふれあいパック事業 600
- ▶ 集落開発センター整備事業（東山集落開発センター建設補助） 4,732
- ▶ 中核的担い手農業者育成対策事

主な事務・

一般会計予算

業 1,508

- ▶ 町行造林事業 81,483
- ▶ 林道開設事業（若の窪線工事ほか） 20,600
- ▶ 町の木「ブナ」保護育成事業 400

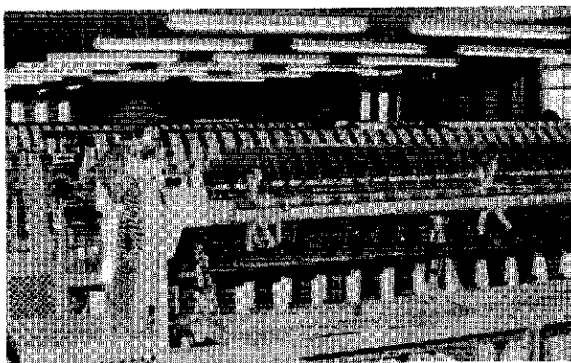


好評のふれあいパック

川西町の労働力と 町民が望む雇用の場は...

郡市商工業振興協議会のアンケート調査から

中魚沼郡市商工業振興協議会では、昨年の八月に「地元労働力と企業誘致に対するアンケート調査」を実施しました。調査の目的は、これからの企業誘致に対して、地域ではどれくらいの労働力を供給できるの



昨年12月に操業開始したトーコー

か、また、住民がどのような雇用の場を望んでいるのか、という点に置いてあります。調査票は、川西町、十日町市、水沢地区、中里村、津南町の全世帯九千二百八十戸へ配布し、回収数は四千九百三十一枚（回収率五三・一％）となっています。調査結果は、「地元労働力と企業誘致について」潜在労働力についてという報告書にまとめ、十二月に発表しています。報告書の中から、川西町の分を抜き出し、その概要をまとめてみました。調査表の配布数は二千三百五十枚、回収数が千五百八枚、回収率は六四・二％でした。

■希望賃金

▷男子

- ①20万円以上（52％）
- ②15万円～20万円（33％）
- ③10万円～15万円（11％）

▷女子

- ①10万円～15万円（42％）
- ②7万円～10万円（21％）
- ③15万円～20万円（15％）

*「20万円以上」を希望する男子は、年齢的には40歳代、30歳代、50歳代の順となっています。

「10万円～15万円」を希望する女子は、年齢的には10歳代、20歳代、40歳代の順で、「7万円～10万円」では、中年層のほうが若年層より希望者が多くなっています。

■勤務可能時間

▷男子

- ①8時間の通常勤務（83％）
- ②8時間の交替制も可能（14％）
- ③6時間以内のパート（2％）

▷女子

- ①8時間の通常勤務（74％）
- ②6時間以内のパート（16％）
- ③4時間以内のパート（8％）

■就職・転職希望者

620人（回収率を考慮に入ると実際には970人くらいとなる）

■就職・転職の希望職種

▷男子

- ①事務員・公務員（21％）
- ②電子部品関連製造工（13％）
- ③自営業（12％）

▷女子

- ①事務員・公務員（28％）
- ②電子部品関連製造工（13％）
- ③食料品製造工（9％）
- ③織物、電子部品以外の内職（9％）

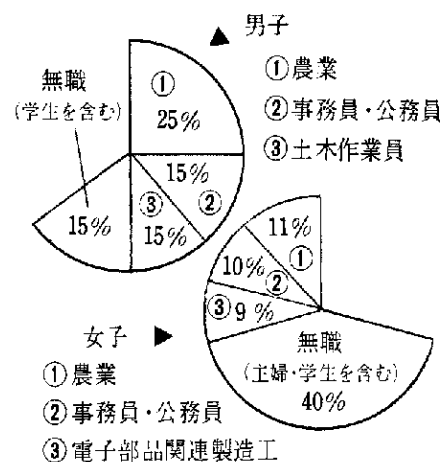
*男子では、60歳代が「事務員・公務員」「土木作業員」を、50歳代が「土木作業員」「農業」を、40歳代が「自営業」「事務員・公務員」を、30歳代が「事務員・公務員」「電子部品関連製造工」を、20歳代が「事務員・公務員」「自動車機械・製造修理工」を求めています。

女子では、60歳代が「その他の内職（織物、電子部品以外）」「電子部品関連製造工」を、50歳代が「食料品製造工」「その他の内職」を、40歳代が「電子部品関連製造工」「事務員・公務員」を、30歳代が「事務員・公務員」「電子部品関連製造工」を、20歳代が「事務員・公務員」を求めています。

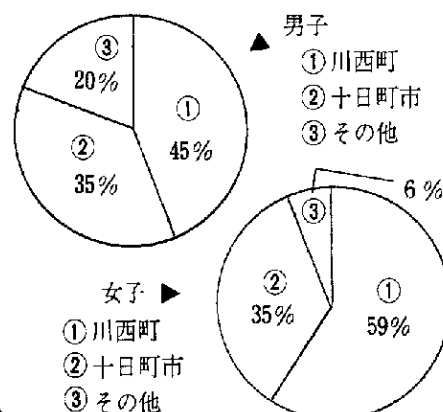
各調査項目ベスト3

（川西町分の集計結果）

■現在の職種



■現在の勤務地



十日町地域 広域事務組合 財政事情の公表

昭和60年12月31日現在

昭和60年度各会計予算執行状況

(単位：万円)

	予算現額	収入済額	収入率	支出済額	執行率
一般会計	66,978	54,568	81.5%	50,176	74.9%
総合福祉センター特別会計	1,726	1,578	91.4%	1,167	67.6%
と畜場事業特別会計	3,400	3,104	91.3%	2,179	64.1%
合計	72,104	59,250	82.2%	53,522	74.2%

昭和60年度市町村別負担金状況

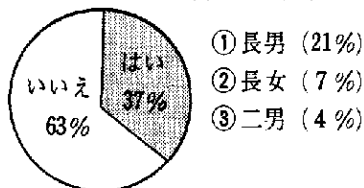
(単位：万円)

	一般会計	総合福祉センター特別会計	と畜場事業特別会計	合計	構成比
十日町市	29,994	30	671	30,695	47.4%
川西町	9,861	22	133	10,016	15.5%
津南町	14,282	1,313	243	15,838	24.5%
中里村	8,005	25	103	8,133	12.6%
合計	62,142	1,390	1,150	64,682	100%

■将来どんな職業についてほしいですか

- ①公務員 (51%)
- ②会社員 (25%)
- ③自営業 (11%)

■あなたのお子さんとUターンを希望している方はいますか



*Uターンを希望している人は255人います。アンケートの回収率から実数を計算すると約400人となります。

■現在、中魚沼郡市では、広域的に高齢者の就職あっせんをするため、高齢者事業団の設置を計画していますが、あなたは登録を希望しますか
はい (60%)
いいえ (40%)

*高齢者事業団へ登録を希望する人は、中魚沼郡市で1,913人、アンケートの回収率から計算しなおすと約3,600人になります。⑩十日町市は水沢地区のみ
川西町は663人で、実数は約1,030人が登録を希望しているといえます。

■勤めには出られないが、内職ならしてみたいとお考えですか (すでに内職をお持ちの方はいいえに含む)

- ①はい (42%)
- ②いいえ (58%)

■内職をしたらどんな仕事を望みますか

- ①電子産業関係 (37%)
- ②織物関係 (22%)
- ③食品製造関係 (17%)

■もし転職を考えた場合、最優先に考えることは

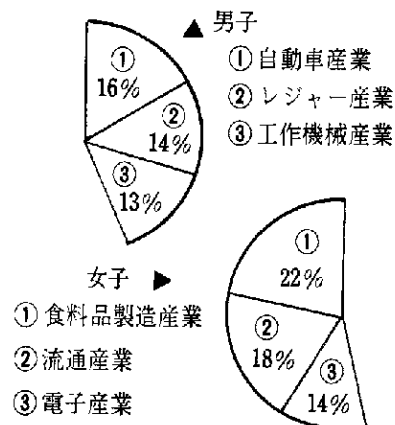
- ①自分の性格、能力に合っている (28%)
- ②賃金水準が高い (26%)
- ③将来性がある (22%)

*転職を考えた場合の主要要素は、「自分の性格、能力に合っている」「賃金水準が高い」「将来性がある」の順です。

■お子さんから将来地元に残ってもらいたいですか

- ①できるだけ多く残ってほしい (57%)
- ②1人は残ってほしい (32%)
- ③残らなくてもよい (10%)

■今後地元へ誘致したい企業



*川西町の人たちは、「食料品製造産業」「電子産業」「レジャー産業」「流通産業」「自動車産業」といった業種に、より多く来てほしいと考えています。

男子は「自動車産業」に魅力を感じている人が多く、特に40歳代と20歳代に目当たっています。

女子では「食料品製造産業」の誘致に期待をかけている人が多く、30歳代以上の中年層が特に強く望んでいます。

■企業誘致と地元企業の育成で最優先とお考えのことは

- ①企業誘致を積極的に進めるべきである (48%)
- ②新規地場産業の開発育成を積極的に進めるべきである (22%)
- ③既存の地元企業育成発展を積極的に進めるべきである (22%)

*「既存育成」「新規開発」を「地元企業派」とすれば、「企業誘致派」をわずかながら上回ります。

「既存育成」を「既存派」、「新規開発」「企業誘致」を「新規派」とした場合、「既存派」の2割強に対して、「新規派」が8割弱いることになり、多くの人が新しい産業を期待しています。

■誘致企業が下請け事業を発注した場合はどうしますか

- ①事業をしてみたいとは思わない (46%)
- ②電子産業であればしてみたい (14%)
- ③食品製造業であればしてみたい (13%)

*「事業をしてみたいとは思わない」が半数以下で、新たに下請けを受注してみたいという人がかなり多い数となっています。

「集団転作」で 地域産物作りを

61年度集落転作面積等配分会議が、先月20日に総合センターで開かれました。

会議には、町、普及所、農協の関係者と、転作推進委員60人が出席し、転作推進の方法などを協議しました。



転作面積等配分会議

61年度転作等目標面積 (単位: ha)

区分	昭和61年度	昭和60年度	前年度比較 (61-60)
転作等目標面積	109.8	104.2	5.6
内 転 作	99.2	93.7	5.5
他用途利用米 (生産予定数量60kg/俵)	10.6 (830俵)	10.5 (801俵)	0.1 (29俵)

転作事業は

長期的な国策です

昭和四十四年から諸々の米生産調整対策が講じられ、転作は五十三年度からは水田利用再編対策として進められています。本年度は、第二期対策の最終年に当たり、また六十二年度以降の次期対策の足場ともなる重要な年です。

六十一年度の転作割当目標は、前年度の豊作によって、五十九年度並みに強められました。米を主産物とする川西町ですが、米の潜在生産力が全国では需要を三百万トンも上回る状態から、この転作事業が長期的な国策として続く見通しですので、

米に代わる地域産物を作り出すことと、所得確保のための努力が必要となります。これらの情勢とこれまでの実績を踏まえながら、関連する諸奨励策を効果的に活用し、目標達成を図るとともに「集落ぐるみの集団転作」を定着化し、町農業の発展を図るために、農家をはじめ関係される皆さんのいっそうの理解と協力をお願いします。

川西町の目標面積

川西町への六十一年度転作等目標面積は、百九・八ヘクタールが県から配分されました。転作率にすると九・九%です。これは、全国の二・四%、県の二・四%から見ても低い数字です。良質米生産地ということが加味されています。

の対象外となった植林、養魚池については、第二期控除面積の二分の一相当を控除します。▽他用途利用米 目標面積は町内一率配分とします。

集落への

配分方法

集落別転作等目標面積の配分方法は次のとおりです。
▽基礎面積 六十年度農業共済細目書を基に異動調査を実施したものです。
▽実績控除 五十五年度限りで奨励補助金

町の基本方針

「集落ぐるみの集団転作と定着化」を推進して、地域農業の再編成と生産性の向上を図ることが町の基本方針です。

このため、「転作定着化推進加算制度」の積極的活用により、集団転作地区の拡大を図るとともに、第一種加算制度が活用できる団地化(連担団地)を促進し、規模が大きく生産性の高い転作中核集団の実現に努めます。

町の補助事業

町は、次の転作関連事業について、予算の範囲内で補助金を出します。

▽川西町重点作物奨励補助金 町の重点作物として取り組んでいる大豆、青刈トウモロコシ、加工用ナス、シロウリ、キュウリ、野沢菜などの集団転作を実施した生産組合に対し、十アール当たり二千元以内の補助金を交付します。

▽転作中核集団育成事業費補助金 該当する作物の栽培を共同作業で実施した組織に対して補助金を交付します。

ほかに、集落転作推進活動委託費の助成などがあります。

転作物の共助会参加で技術賞を受ける霜条転作大豆組合



町行造林事業の 作業班員募集



植栽作業

町内の山林地帯で雑木の伐採や杉苗の植栽などの作業に従事して下さる人を募集します。

①募集人員 男子58人 女子若干名

②採用条件

(1)川西町の住民で健康な人

(2)男子はチェーンソー・刈払機の操作ができる人

(3)年齢は4月1日現在70歳未満

(4)募集人員を超えた場合は、技術・資格・年齢等を考慮して選考する

③賃金 原則として川西町農業標準賃金を基本日額とし、ほかに技術・運転手等の諸手当を加算して決める

④賞与 勤務日数等を勘案した特別賞与を支給する

⑤期間 昭和61年5月1日から昭和61年11月30日の予定

⑥就業時間 始業午前8時、終業午後5時10分

⑦休日 原則として日曜日とする

⑧申し込み方法 健康診断書1通、印鑑、それに自動車運転免許所有者は免許証を持参のうえ、産業課林政係へ申し込む

⑨締め切り 3月29日

⑩その他

短期特例雇用保険、労働災害適用の制度あり

採用については選考のうえ、4月19日までに各人に通知する

転作奨励補助金の交付額 (単位: 10a 当たり・円)

種類	作物名	基本額 ①	バラ 転作	団地化計 画の部分	転作定着 化該当地
特定作物	大豆、そば、麦、飼料作物	41,000	①のみ	(第1種加算金) ①+ 20,000	(第2種加算金) ①+ 10,000
永年性作物	果樹(ぶどう、りんごを除く)	49,000	①のみ	①+ 20,000	①+ 10,000
一般作物	たばこ、青刈稲、大豆以外の豆類、養魚池、水田養魚、林地、など	26,000	①のみ	①+ 15,000	①+ 10,000
野菜	この地域で栽培できる野菜(れんこん、くわいを含む)	21,000	①のみ	①+ 15,000	①+ 10,000

※管理転作は21,000円、土地改良通年施行は24,000円の基本額が交付されます。

▶転作定着化推進第1種加算の要件

・団地化転作の場合

転作田が完全に地続きで、団地の規模が3ha以上であること。また1ha以上の団地を集めて、団地の面積の合計が転作面積の3分の2以上あること。団地内の転作作物は、原則として2作物以内に統一されていること。

▶転作定着化推進第2種加算の要件

・集落転作の場合

集落内の水田耕作者の3分の2以上により、転作の推進を図るための組織が設立されていること。組織に所属する農業者の転作田に係る農作業を組織の共同作業として実施するか、あるいは中核的農家等に作業委託されていること。

達成率105.1%

60年度の転作実績

60年度転作等実績

1俵=60kg

転作等目標面積	転作を要する面積	他用途米面積
104.2 ha	93.7 ha	10.5 ha (801俵)

転作等実施面積	109.5 ha	達成率	105.1 %
転作等	99.0 ha	実施農家数	858戸
他用途米	10.5 ha (801俵)		

ご協力ありがとうございました。

故内山常治郎さんに

勲六等瑞宝章の栄誉



町議のころの内山さん

昨年十二月二十六日に亡くな

られた新町新田の内山常治郎さん(享年七十八歳)に、内閣総理大臣から勲六等瑞宝章が贈られ、このほどお宅へ届けられました。

内山さんは、昭和二十六年に上野村議会議員に当選してから

三十一年の町村合併を経て三十二年までの六年間、三十六年に再び川西町議会議員に当選以来四十四年までの八年間、通算四期十四年間にわたり村・町議会議員として活躍されました。

この間、三十六年から三十八年までの二年間総務財政委員会委員長、四十年から四十四年までの四年間監査委員を歴任されるなど、地方自治の振興に情熱を注がれました。

交通災害共済 全員加入を お勧めします

「一日一円の安い掛金で会員相互の助け合い」をキャッチフレーズに始められた交通災害共済制度は、町民の皆さんのご理解から年々加入者が増加し、六十年には二千九十三世帯・八千五百十一人の方から加入していただきました。

見舞金を受けられた方は二十人・百七十五万円で、件数、

金額とも五十九年度の約二倍となっています。

ここに、二年、婦人や高校生のミニバイクによる事故、小学生や幼児の自転車による事故が急増しています。

事故に遭わないよう注意していても、万一という場合がありますので、家族の全員が加入されるようお勧めします。

ただ今、嘱託員にお願いし、六十一年度の会員募集を始めるところです。現在加入されている方も三月いっぱいまで共済期間が終了しますので、引き続き加入してくださいようお願いいたします。

今年から申込書の様式が電算打ち出しに変わりました。チラシの記入例をよく読んでお書きください。二月三十一日まで

就職などで転出される方は、残念ですが加入できませんので棒線まで消してください。また、転入された方や生まれた子供さんで打ち出していない方については、余白部分に記入してください。申込書は左右切り離さずに嘱託員、または受付場所へ提出願います。

加入方法や見舞金請求について分からない点がありましたら、役場住民係へ問い合わせてください。

- 加入申込受付場所
- * 県信用組合川西支店
- * 新潟川西農協千手支所
- * 上野支所
- * 橘支所
- * 仙田支所
- (千手中央店、出張所は除く)
- * 川西町役場会計窓口

ねん

四月から七千百円に

国民年金

保険料の改正

国民年金の保険料が次のように改正されます。

①保険料月額

(1)昭和六十一年度(六十一年四月から六十二年三月まで) 七千百円

(2)昭和六十二年(六十二年四月から六十三年三月まで) 七千四百円

②保険料を前納する場合の期間と納付すべき額

(1)昭和六十一年四月から昭和六十二年三月までの期間を前納する場合

保険料 八万三千四百円
付加分 四千六百八十円

計 八万七千八百二十円

(2)昭和六十一年四月から昭和六十二年三月までの期間を前納する場合

保険料

十六万五千二百八十円
付加分 九千二百二十円

計 十七万四千四百円

さん

ふくし

より高い年金を

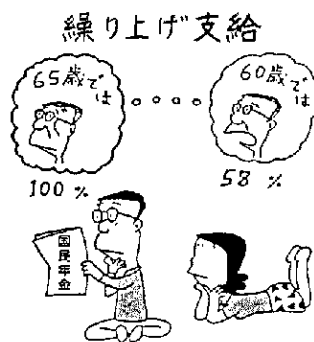
より長く

繰り上げ請求は慎重に

新年金制度が四月一日からスタートします。

この中で、六十歳からの繰り上げ請求ができなくなるのではないかとという解釈をされている方がいるようですが、今までどおり繰り上げ請求できますので、まちがいのないようにお願いします。

繰り上げ請求しますと、一生生涯減額された年金を受けることになりますので、自分の健康や家庭の状況、長い老後のことなどをよく考えて請求しましょう。



民俗編の貴重な内容

「川西町史」の資料編には、昔の人たちの考え方や生活の様子を知っていただくための、言語や行為で伝承されてきた民俗の事柄が豊富に収録されています。

そのあらましは次のとおりです。
(一) 内は調査執筆者。

民俗編

第一章 衣・食・住

山着物と家着、野良仕事の仕度、夏場の家着、冬の家着、夏場のはきもの、みのと笠、雨具、防寒具、雪中のはきもの、晴れ着、よそ行き、仕事着の中の暗れ着、衣類の周辺、ブイトウ、アングリン、うちわ、寝具、裁縫と洗濯、衣類の素材、一日の食事、朝食、こびる、昼食、中飯、夕飯、夜食、イスス挽き、アンブ、粉餅、カキッポウ、スイトウ、カテメシ、イデコミ、晴れの日の食べ物、餅と牡丹餅、赤飯と小豆粥、団子、そば、塩、味噌、豆じょうゆ、魚、蔬菜、山菜、保存食品（滝沢秀一）
間取りと暮らし、地炉を囲ん

だ生活、雪と住家（上村政基）

第二章 生産と生業

ベト撒き、肥引き、スジ洗い、苗代作り、本田作り、苗取り、稗転がし、田植えの服装、大田植え、田植えのときの食事、豆つけ、田の草取り、草刈り、病害虫の防除、稲架け場作り、稲刈り、稲上げ、グミハズシ、稲

町史の窓

第五章 社会の民俗

コキ、イガカチ、初ドウシとボツアラガチ、初あおり、ムシ口立て、臼挽き、米あおり、万石とおし、俵つめ、セツツキ、マングワ洗い、田休み、願い祭、刈り上げ、イナバ寄せとニューイレ振舞、秋ごと、こき上げ、トウド呼び、セツツキ振舞、小作振舞、十三夜、十日夜、えびす講、大師講、稗米、糯米（駒形彰）
川西地方のハタ織り、芋の調製、糸ごしらえ、染色および縞と紬、イザリバタの仕組み、機ごしらえ、仙田紙（和紙）、紙

漉き、楮栽培、楮寄せ、楮皮の精製、カミソを作る、漉いた紙の処理、チリガミ、スジガミ、紙の終末（滝沢秀一）

第三章 交通と運搬

ツンネ歩きと峠越え、旅人たちと休み茶屋、車と橋、駄賃橋、川船、川船で米送り、筏流し、村内の連絡、郷走と小走、集合の合図（上村政基）

第四章 交易

物々交換、旅商人、女衆の買物、町内の小売店、頼母子講、無尽（上村政基）

第六章 信仰

祈りのあと、豊作を祈る、祭りと行事、氏神と氏子たち、講の人たち、物のケ（怪）とまじない、川流れした神様と引越す、神社の統合、機織りと黒姫様、六夜様、お庚申様、庚申供養祭、三夜様、金毘羅様と川神様、天狗様と道祖神、子の権現など（上村政基）

第七章 人の一生

妊娠の予知、安産祈願、性別の判断、出産、おびやめし、乳付け、おびやしない、チンチン毛、おびや明き、名付け、つぐらつ子、宮参り、食初め、孫祝、誕生（一年目）、厄年、年祝、下仲人と仲人、結納、足入れ、嫁とり仕度、出振舞、近迎え、親子盃、祝言と嫁見、親送り、初夜の祝、三日の祝、まな板流し、一見、離婚、再婚、死の予兆、告げ、靈魂の贈り、いとやマコシヤイ、夜伽、湯濯と納棺、働き衆、葬式、お斎と念仏、火葬、お骨上げ、骨納め、壇引き、供養、葬式の禁忌、俗信（金子幸作）

第八章 年中行事

こと納め、すす掃き、納豆ねせ、年取りの仕度、餅つき、松迎えと正月さま、注連飾り、年取り、いなだき、歳暮、大晦日、元旦、若宮参り、歯固め、雑煮、

年始、つぼの盆、年始よせ、仕事始め、蔵開き、寺年始、釜神さまの年取り、もろもろ、七草回談、十一日正月、若木迎え、餅つきと団子飾り、百姓の正月、小年、鳥追いとバイト、鳥追い餅、もつくらもち追い、足出すな口出すな、小豆がゆの作占い、はらみ箸、成るか成らぬか、予祝演技、ねぶつ除け、道具の年取り、年取りと道楽神焼き、十六日、豆落とし、十八がゆ、二十日正月、出がわりついたち、節分、初午、ことはじめ、十二講、団子撒き、かかの節句、春の彼岸、四月八日、春祭、よもぎしょうぶ、ろくろうえん、田植え、六月一日、きんぬきづいたち、黒姫参り、十七夜、土用祭、雨乞い、ぼんぼちついたち、盆寶と盆箸、仏具磨き、盆棚、墓ごしらえ、迎え火、暮参り、送り火、盆踊り、しちんち盆、秋祭、はつきく、十五夜、秋の彼岸、十三夜、十日夜、恵比須講、秋ごと、かくせつ、洗濯泊まり、大師講、せつつき振舞（滝沢秀一）

第九章 民俗知識

禁忌、兆、呪い、諺、しつけ、占いに関するもの（金子幸作）
第十章 遊戯と口承文芸
子供の遊び、童謡、民謡、昔話、伝説、世間話（金子幸作）

距離大会入賞者

(3位まで)

▷小学4年生男子〔1km〕

- ①南雲武幸(千手) 4' 19"
- ②丸山英紀(橘) 4' 26"
- ③黒嶋裕(千手) 4' 54"

▷小学4年生女子〔1km〕

- ①丸山安紀子(橘) 5' 39"
- ②戸田奏子(橘) 6' 04"
- ③北村美貴(千手) 6' 13"

▷小学5年生男子〔3km〕

- ①田村真一(千手) 13' 52"
- ②田村有ニ(千手) 13' 58"
- ③中村繁之(千手) 13' 59"

▷小学5年生女子〔2km〕

- ①小林奈奈子(千手) 10' 08"
- ②茂野暁子(千手) 10' 10"
- ③村越薫(橘) 10' 32"

▷小学6年生男子〔3km〕

- ①高橋哲也(千手) 11' 44"
- ②沢瀉竜也(千手) 11' 54"
- ③渡辺大(千手) 11' 58"

▷小学6年生女子〔2km〕

- ①星名浩美(千手) 9' 03"
- ②星名夏江(千手) 9' 17"
- ③水落由起(千手) 9' 38"

▷中学生男子〔6km〕

- ①高橋直樹 22' 47"
- ②南雲利光 22' 57"
- ③相崎和行 23' 17"

コンディションは絶好

町民スキー距離大会

第9回川西町民スキー大会・第2回川西町小学校親善スキー大会(距離)が、3月2日に川西中学校グラウンドで開かれました。

春の日ざしの中で、270人の選手がタイムを競いました。

小学校5年生女子です



千手小スキー大会(2/23)



橘小スキー大会(2/20)



スキー大会 スナッフ・ショット

十日町市中魚沼郡中学校
新人スキー大会(2/20庚塚)



仙田小スキー大会(2/23)



川西町の積雪状況

(単位:cm)

月日	61年	60年	59年
2・5	330	270	329
2・10	387	240	364
2・15	328	270	335
2・20	331	257	338
2・25	350	310	300
2・末日	365	288	344



文勇堂製本工業(戸田市)

出稼ぎの皆さんは お元気でした

先月19日から21日までの3日間、出稼ぎ相談員と町と農協の担当者が、東京、横浜などの出稼ぎ先職場4社を訪問してきました。川西町の皆さんは元気で働きとのことでした。

丸山千華子選手

国体スキー大会で健闘

「たくましくニセコに競え美と力」をスローガンに、第41回国体冬季大会スキー競技会が2月20日から23日にかけて、北海道倶知安町で開かれました。

この大会に、昨年に引き続き丸山千華子選手（口体大3年・上町）が出場しました。

丸山選手は、21日の距離成年女子1部（5K）で19分16秒3と健闘し、順位を昨年より1つ上げて14位となりました。

体調を崩して苦しいレースだったとのことですが、持ち前の粘りを発揮しての成績です。



左はしが丸山選手（赤倉で撮影）

生まれ故郷は

いとおしく

横浜市 川崎 広 夫 さん

（室島出身）



私は、六十四歳となりましたが、至ってじょうぶで毎日を過ごしております。

を拝見し、故郷の懐かしさに目元が潤むような感じがします。文中に知っている方の名前や写真などを見つけると、その感慨はひとしおのものがああります。町政の動きにも触れることができます。長寿者番付では「ああの方もうぶで長生きされておられるのだなあ」と懐かしんでおります。冠婚葬祭の欄も興味深く目を通します。

私が横浜へ移り住んでから二十一年目になりますが、故郷の変わりようにはただただ驚くばかりです。無雪道路の延長、水道の整備、あらゆる文化生活が各戸に行き届いているさまを承る時、隔世の感がするのは、おそらく故郷を離れた皆さんが同様かと存じます。

だれしも生まれ故郷を懐かしみ、いとおしく気持ちがあると思存しますが、広報などのふるさとへの便りを手にする時に、鮮明にその気持ちが確かめられます。この手紙はこたつに当たりながら書きました。まだまだ寒さが続きます。故郷の皆さんもご自愛のうえ、ご奮闘されるようお祈り申し上げます。

わしの自慢

わらじ作りに

年季を入れる

仁田

田中恒蔵さん

田中さんのお宅におじゃましたのは、二月二十五日のことである。

「わらじ作りは二、三日前から始めたばかりです。それまではかんじきつべ（縄を掛けること）をなかまの家から頼まれてやっていました」

田中さんには、雪が消えるころまでに二百足のわらじ作りのノルマがある。

「町から頼まれたのですよ。どういふところへ行き、どんな人が使ってくれるのかもよく分かりません」

そこで係に聞いたところ、東京・千代田区のスポーツ店へ送っているもので、川西町全体としては、一年間に二千足の注文を受けているとのことであった。釣りや山登りに若者が使っているらしい。

「一足三十分くらいかかります。形が難しいです。四角ぞうりの丸わらじといいますが、大きさは勘でやっています。わらじのかかとつま先部分には布を入れ、履きやすいようにくふうしました」

稲わらは縄ないにも使うので、一冬に五十束（十四わ一束で）くらい必要とのことである。

「使う分は自分で手刈りをして、かけ場で干します」

田中さんは、わら細工はなんでもこなすが、みやぎるなどの竹細工も得意である。

「昔は学校を卒業すると仲間つ子で競争してぞうりやわらじなどを作ったもんです。数えて十四歳ごろでしょうか」

「遊んでいるほうが楽しいです……」と稼が好きな田中さん。

両手にわらじの田中さん



十日町高校定時制 第2次入学生徒の募集

十日町高等学校定時制では、次により第2次入学生徒の募集をします。

◇募集学年および人員

普通科第1学年・若干名

◇第2次入学者選抜学力検査

3月26日(水)

検査教科は「国語」「数学」

「英語」の3教科

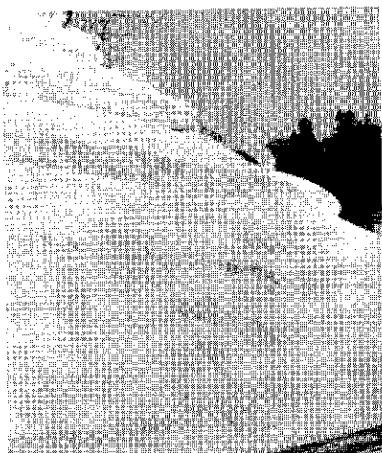
◇出願手続き

「入学願書(600円の県収入証紙を張る)」「受検票」「調査書」を在学(出身)中学校長を経て十日町高等学校長に提出

受け付けは3月19日(水)から3月25日(火)午後4時まで

※詳しくは、県立十日町高等学校定時制課程〔十日町市本町西1丁目・☎(52) 3575〕へ問い合わせください。

「雪崩」にご注意を！



春の足音が近づいてきましたが、陽気が良くなると「雪崩」の危険が増してきます。くれぐれもご注意ください！

停電のお知らせ

- 4月2日(水) / 午後1時から4時30分まで、学校町の一部・中屋敷の一部・沖立。

検察審査会の 主な仕事

検察審査会は、選挙権を有する国民の中から選ばれた11人の検察審査員が、国民の代表として、検察官が事件を起訴しなかったこと(不起訴処分)のよしあしを審査するのを主な仕事とします。

犯罪の被害にあった人や犯罪を告訴・告発した人から、検察官の不起訴処分を不服として、検察審査会に申し立てがあったとき審査を始めます。また、検察審査会は、被害者などからの申し立てがなくとも、進んで検察官が不起訴にした事件を取り上げて審査することもあります。

検察官がした不起訴処分に不満を持っている方や、検察審査会についてもっと詳しく知りたい方は、お気軽に下記へご相談ください。

相談や申し立てについての費用はいっさい無料で、秘密は固く守られます。

■長岡検察審査会事務局〔長岡市三和3丁目9番地28 裁判所構内 ☎0258 (35) 2141〕

「転出届」は 郵便局にも

3月から4月にかけては、就職、入学、人事異動などで住所を変更される人が多くなります。

転居されるときは、郵便局にも転居届をお出してください。

転出届を出された方には、向こう1年間、旧住所あての郵便物を新住所へ転送します。

転居届の用紙は、郵便局のほか役場の窓口にも備えてありますし、普通のはがきを使用していただいてもけっこうです。

届け出内容は、新住所、旧住所、転出者の氏名、世帯の全部か一部かの区別、転送開始希望年月日などです。

(カ) (イ) (ド)

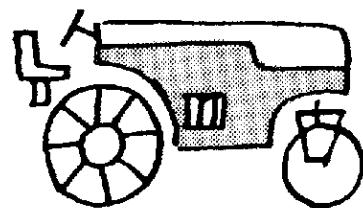
情報

農業用軽油 免税証の交付

今年は十日町総合庁舎で

農業用軽油の免税証交付を次のとおり行います。該当の方は忘れずに交付を受けてください。

当日交付を受けないと、交付を受けることができなくなる場合があります。



▶交付日時

3月25日(火)

午前9時から12時まで

午後1時から4時まで

▶交付場所

十日町総合庁舎 会議室

▶必要書類

①印鑑(共同申請の場合は全員の印鑑が必要)

②免税軽油使用者証(継続申請の場合)

③耕作面積証明書(農業委員会で証明を受ける)

④使用機械の証明書(所有証明、借用証明)、または納品書などの写し(機械の製作所名、名称、型式、馬力、燃料消費量などの記入が必要のためカタログを持参のこと)

▶その他

申請用紙は十日町財務事務所にあります。不明の点は十日町財務事務所〔☎(57) 5511(内線) 205〕へお問い合わせください。



次の善意が寄せられました。

◆一般寄付金

*田村タイさん (八王子市) から、広報発行の一助にと二万円

◆社会福祉協議会へ

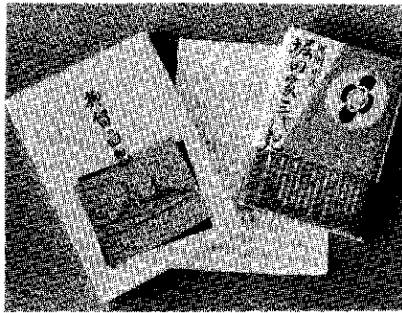
*渡辺亮平さん (東善寺) から三万円
*星名洋子さん (伊友) から三万円
*齋木保さん (室島) から三万円
*小林徳平さん (中仙田) から三万円

庁内人事

*退職 / 二月二十八日付
▽高橋玲子 (地域休養施設調理員)

佐倉市の榎間さんが本をプレゼント

町では、「ふるさとの便り」として、故郷を離れてご活躍されている方々に、毎月一千部ほど広報紙などをお届けしています。このたび、千葉の佐倉市にお住いの榎間直作さんから、このお礼として『堀田家三代記』と『抑留の回想』という本が町へ届けられました。この本は、公民館の図書として、皆さんから読んでいただきたいと存じます。



榎間さんから贈られた本

民俗資料

●橘郵便局から、ポスト
●清水ヨシさん (下平新田) か

ら、高ハシダ
●小林平作さん (中仙田) から、ツボ多数 (お膳用)

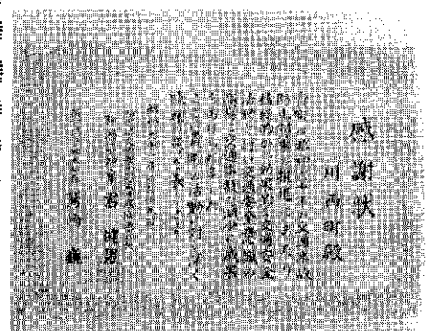
町の交通安全活動に

感謝状

先月十九日、県庁での市町村交通安全対策主管課長会議の席上、川西町の交通安全活動の実

績に対して感謝状が贈られました。

感謝状は、「昭和六十年の交通事故防止対策の推進にあたり積極的かつ効果的な交通安全活動を行い交通事故の減少に成果をあげた」という文面で、県交通安全対策連絡協議会長 (県知事)、県警察本部長の連名のものです。



町の交通安全活動に感謝状

町内さんぽ

大倉修吾さんの語りに沸く

総合センター超満員

商工会が講演会を開く

大倉さんの語りは、方言まる出しで人気があります。また、カキケコの発音が空気が漏れるという欠点を逆手に取って温か味を出しています。

「人間はうわさ話が好きだね。特におなごはね。うわさ話をすると三人の方が傷つきます。う

川西町商工会では、三月二日に総合センターで永年勤続従業員表彰式の後、BSNラジオ「ミュージックポスト」のデスクジョッキー大倉修吾さんを迎え、「話し方と人間関係」という題で講演会を開きました。ホールは超満員となり、大倉さんのズバリの発言とユーモラスな言葉に、会場は笑いの渦がいつぱいとなりました。

わき話をした奥さん、それにうなずいた奥さん、うわさの張本人になった人です。ほかを見るのはうわさ話をした方とうなずいた方です。そのへんをよく心してもらえば、川西町がもっともっと明るく発展すると思います。心の発展をお祈り申し上げます。

このように雪深いところですが、雪に覆われたら大地にしっかり根を張っていただきとうなずきます」と大倉さんは話を閉じました。

大倉修吾さんの講演会

くらしと健康

心臓の働き

心臓の大きさは、だいたいその人の握りこぶしぐらいと言われています。心臓の壁は筋肉からできており、中には部屋が四つあって、血液を体中に送り出したり、受け入れたりするポンプの役割をしています。

血液は酸素や栄養素を体のいろんな部分に運び、また老廃物を体の外に出すという働きをします。

心臓の右半分(右心室と右

心房)は全身から集まった汚れた血液が流れ、心臓の左半分(左心室と左心房)は肺で酸素をもらったきれいな血液が流れています。

大動脈は左心室から出ていて、全身に血液を送り出します。このポンプの役目を生涯休むことなく続けるために、心臓は心筋の縮んだ状態と広がった状態を繰り返します。

この心臓の活動に欠かせない酸素や栄養素を心筋に運ぶ役目をして



ているのが冠状動脈です。大動脈の根元から左右二本の冠状動脈が枝分かれをし、心臓全体に血液が行き渡るよう、さらに細かく分かれます。

この冠状動脈がなんらかの原因で狭くなると、その先に血液が行かなくなり、その部分の心臓の動きが鈍り、場合によっては心臓全体の活動がなくなります。このような病気を狭心症や心筋梗塞と言います。

心臓病は川西町の死亡原因の第三位を占めています。これを予防するため、たばこの吸い過ぎ、動物性脂肪の取り過ぎ、肥満、高血圧、ストレスに注意しましょう。

心臓を自分で観察するため、ときどき脈拍を測ってみることもたいせつです。

戸籍の窓から

昇天——ごめい福を祈る

渡邊 セン 東善寺 六九
野澤 サイ 野口 七四
上村 清治 上野 八二
鯨井 カウ 木島 八三

うぶ声——おすこやかに

涌井 幸子 昭夫 長女 仁田
高橋 幸子 幸守 二女 伊友
星名 敬介 秀利 二男 中央町
富井 敏 敏 長男 上野
北村 桃夏 力世 二女 山野田
丸山 裕之 安彦 長男 霜 条

かわにし 俳壇

太田白南風選

三領 高橋たかし

○雪平障子に写る春の音

新しき家に飾りぬ古き雛
熱下り今朝の黄梅美しく
人生は長し短し歳湯汲む

平野 裕 隆夫 二男 四郎兼
和久井香織 昇 長女 木 落
野澤 拓也 稔 二男 野口
丸山 祐樹 勉 三男 木 落

たかさこ——ご円満に

新郎 高橋 孝之 高倉
新婦 佐川 光子 福島県から

新しい嘱託員

〔仙田地区〕

□中仙田 木村 昭一
□室島 高橋 正一
□小脇 斎木誠一郎
□高倉 高橋 重信
□田戸 押木 良作
□赤谷 登坂 復松

心配ごと相談

□岩瀬 小川 充
□大倉 中条 石平
□大白倉 桐生征之介
□小白倉 江口 俊三

2月の交通事故発生件数

件数	死者	傷者	酒気おび	酒死
0	0	0	0	0
(2)	(2)	(0)	(3)	(1)
2	5	0	0	0

()内は前年比較

三領 水品 律

盆梅の紅灯のご二三輪
盆梅の白に遅れし紅の艶
哀歌の孤児に祖国の浅き春
春浅し梅前線の遅々として

岩瀬 小川 益栄

雪卸す屋根に声かけ郵便夫
早春の洋服売場母と娘と
産気づく牛舎人ある寒灯
雪崩たる崖に残れるまだら雪

野口 野沢 寅生
役渡し湯治の旅や浅き春
大枝を巻き込み走る雪崩かな
中仙田 左木人

寒明けて何か親しき水の音
降り出して床屋帰りの余寒かな

